

2018年4月21日(土)

難民受け入れにおける責任の分担は可能か？

移住者支援の立場から期待する グローバル・コンパクト

一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター
(ヒューライツ大阪)

藤本 伸樹

<https://www.hurights.or.jp/>

家族を引き裂く強制送還

入国管理局は2018年2月8日、超過滞在などのベトナム人47人をチャーター機で強制送還。その都度行う個別送還に加えて、2013年以來、チャーター機による集団送還はフィリピン、タイ、スリランカ、バングラデシュなどへ7度目。単身者のみならず、難民申請者や日本に配偶者や子どもがいる人たちも送還されてきた。

家族を引き裂く強制送還



2018年2月27日、ホーチミンで

夫は**定住難民**。彼女は、**元技能実習生**の「ニュー
—カマー」。東京入管に仮放免の更新手続きにい
ったところ、大勢の職員から**5歳の息子と引き離さ
れ收容**された。「**息子は大声で泣き叫んだ**」
1週間後に送還され、日本で暮らす**夫と息子に会
えなくなった**。

世界的中で人の移動が活発化

2000年: 越境した移住者は、推計**1億7,300万人**



2017年: 50%増の推計**2億5,800万人**

うち**アジア地域**への流入が8,000万人

アジア地域からの流出が1億600万人

(出典: 国連経済社会局)

日本に3カ月以上在住する外国人 (外国籍住民)

- 2017年末の**在留外国人総数**、**2,561,848人**
(前年比7.5%増加)
=日本の総人口の約**2%**
- 2008年のリーマン金融ショックと、2011年の東日本大震災の後に減少したが、再び増加へ。

日本に3カ月以上在住する外国人 (外国籍住民) — 2017年末現在

- ① **中国**: 約73万人
- ② **韓国**: 約45万人
- ③ **ベトナム**: 約26万人
- ④ **フィリピン**: 約26万人
- ⑤ **ブラジル**: 約19万人
- ⑥ **ネパール**: 約8万人

(出典: 法務省 在留外国人人数)

人の移動のさまざまな形



出典: IOM (国際移住機関) 駐日事務所



http://www.iomjapan.org/information/migrant_definition.html

人の移動のさまざまな形

<移民> Migrants

- ・正式な法的定義はない。国連、IOM:
理由や自発性かどうか、法定地位に関わりなく、
常居地国を移動した人のこと。
- ・3カ月以上12カ月未満の移動を短期的(一時的)移住、
1年以上にわたる居住国の変更を長期的(恒久)移住

※本報告:移民と移住者を同義語で使用する

グローバル・コンパクトの背景・目的

2016年9月 国連総会「難民と移民に関するサミット」⇒増加する難民と移民に関する各国のコミットメントを掲げる**ニューヨーク宣言**を採択：

- ・難民高等弁務官事務所が中心となって「**難民に関するグローバル・コンパクト**」、
- ・政府間交渉を通して「**移住グローバル・コンパクト**」を、それぞれ2018年に採択する。

⇒条約ではなく、法的拘束力のない約束文書

グローバル・コンパクトの背景・目的

名称:「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト」 Global Compact for Safe, Orderly and Regular Migration

- ・「**正規の移住の促進**」を目的
- ・**正規・非正規にかかわらず**移住者の基本的
人権の尊重

⇒国連事務総長のもとに特別代表を置き、国際移住機関(IOM)が調整役に。

<https://refugeesmigrants.un.org/definitions>

移住グローバル・コンパクト

国連のもとで国際移住のあらゆる局面に関して政府間で**包括的に議論し、合意文書**にまとめていこうとする初めての取り組み。

2017年4月以来、テーマ別非公式セッション6回

2018年2月～7月、国連ニューヨーク本部で政府間会合6回

⇒**2018年12月10-11日モロッコで開催される国連総会の会合で採択予定。**

cf. 2000年の国連グローバル・コンパクト＝企業活動に関する4分野(人権、労働、環境、腐敗防止)10原則

移住グローバル・コンパクトの原案

2018年2月、**原案(ゼロ・ドラフト)** 46パラグラフ

3月に**改訂版1** 48パラグラフ(A4 27ページ)

<指導原則>

- ・人びと&個人を中心に据える
- ・国際協力
- ・**国家の主権: 入管上の管轄は各国**
- ・法の支配と適正な手続
- ・「持続可能な開発のための2030アジェンダ」
(SDGs)に沿ったもの

移住グローバル・コンパクトの原案

<指導原則>

- ・ **国際人権法および国際人権基準**に基づく人権保障(世界人権宣言、国際人権規約、人種差別撤廃条約、女性差別撤廃条約、子どもの権利条約、拷問等禁止条約、障害者権利条約、移住労働者権利条約、人身取引議定書、難民条約など)
- ・ **ジェンダー**に配慮
- ・ **子どもの最善の利益**を確保
- ・ 政府全体による対応

移住グローバル・コンパクトの原案

<22項目の目的・目標>

- ①政策立案のための**データ収集**
- ②移住せざるを得なくなるような**構造要因の削減**
- ③移住の全段階に関するタイムリーな**情報提供**
- ④すべての移住者に法的に証明する**身分証交付**
- ⑤**正規移住**を増やし、柔軟に対応
- ⑥**公正・倫理的なリクルート促進**と、**ディーセント・ワーク**(働きがいのある人間らしい働き方)確保
- ⑦移住プロセスにおける**脆弱性の軽減**

移住グローバル・コンパクトの原案

- ⑧ **行方不明**の移住者に関する**国際協力**
- ⑨ **移住者の密輸**に対する**国際的な対応強化**
- ⑩ **人身取引**の防止と対策
- ⑪ **国境管理**を一貫性のある安全な方法で行う
- ⑫ 入国時手続きの**確実性**と**リスク予測**の強化
- ⑬ **収容**は最後の手段として、**代替措置**の追求を
- ⑭ 領事館による**保護、援助**の拡大
- ⑮ **基本的なサービス**へのアクセスを可能に

移住グローバル・コンパクトの原案

- ⑩ **インクルージョン促進**のため、移住者や社会を**エンパワー**
- ⑪ あらゆる**差別撤廃**と、**事実に基づく議論**促進
- ⑫ **スキル開発**への**投資**と**資格承認**
- ⑬ あらゆる国で**持続可能な開発に貢献**できる条件
- ⑭ **迅速・安全・安価な送金**の**促進**
- ⑮ **尊厳のある**帰還、再入国、再統合の**促進**
- ⑯ **社会保障**の**受給資格**や**年金**の国を超えた移管
⇒ **難民・庇護希望者にも適応する課題**

政府間会合での論点

1. **正規と非正規**の移民・移住者の違い
2. **移民・移住者と難民**の違い
3. **実施体制**
4. **フォローアップと見直し**

・送り出し国と受け入れ国の立場の相違や負担の引き受け

・米国は2017年12月、移住GCのプロセスから脱退

日本の取り組み

<政府> 外務省国際協力局緊急人道支援課が
窓口・調整役となり、関係省庁より意見聴取
⇒ 政府間会合に出席

<NGO> 市民社会の関心は薄い
(国連経済社会理事会と協議資格のある移民・移住の問題に取り組む国際NGOが**オブザーバー**参加し、発言やロビーイング)

日本にとっての意味

- ・安倍政権:「**移民政策**」をとらないことを強調
- ・難民や移民・移住者をめぐる課題が山積
⇒解決の鍵、解決へのアクションが
グローバル・コンパクト
⇒移民政策につながる

<喫緊の課題>

- ・街頭やネット上の**ヘイトスピーチ**、**ヘイトクライム**に顕著に象徴される排外主義や人種差別
- ・**技能実習制度**を通じた「**使い捨て**」の労働者

給料支払明細書

(16年 1月分)

() 殿

労働日数	自 1月 1日	至 1月 31日	日
労働時間	228 時 30 分		
所定時間外労働	221 時 分		
支	基本給		
	1/1~1/15 250	29500	
給	所定時間外賃金		
	1/16~1/31 300	31050	
額	交通費		
	合計	60550	

給料支払明細書

(17年 3月分)

() 殿

労働日数	自 3月 1日	至 3月 31日	日
労働時間	230 時 分		
所定時間外労働	時 分		
支	基本給		
			300
給	所定時間外賃金		69000
	給		7232-
額	交通費		
	合計		71232-

技能実習生の給与支払明細書

「時給300円の労働者」



**就労先で暴力を受けて、労働組合に相談にきた中国人の
技能実習生(©全統一労働組合)**

グローバル・コンパクトの活用

- ・移民や難民の存在を肯定的に受けとめる



- ・難民と移民・移住者の包括的な**権利の保障**

- ・グローバル・コンパクトを、**絵に描いた餅**にしないために



グローバル・コンパクトと人権諸条約を両輪に